

Fairy Heritage II

Webで公開されている代表的なフェアリー資産のまとめ。

2020年8月23日 神無太郎

Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

編集：神無七郎

開設：1998年1月

目的

当サイトはフェアリー詰将棋（変則詰将棋）の解析ツールである f m 及び関連ツールの配布と、それを活用した研究成果の発表を主目的としています。

また、フェアリー詰将棋の新作の出題や、フェアリー詰将棋愛好者の相互コミュニケーションの場を提供するのも重要な目的のひとつです。

ちなみに、当サイトの名称はメールによるミニコミ誌 Online Fairy Mate をもじったもので、当初は OnSite Fairy Mate と「S」を大文字にするつもりでした。

なぜ小文字にしたのかは忘れましたが、最初にそれで作ってしまったので、そのままになっています。

◆Web源泉館

詰将棋パラダイス誌上での神無三郎氏の個展「源泉館」の再録。5手詰のばか詰80題は、その魅力を広く読者に伝えた。

◆ルール説明

コンパクトにまとまったルール説明。いきなり Web Fairy Paradise のルール説明を見ると、あまりの種類が多さにくらくらすると思うので、まずはこちらで頭を馴らすのがよい。

◆ダウンロード

フェアリー詰将棋の検討/創作支援の f m、f m の出力ファイルを画面で動かして鑑賞できる fmview、フェアリー用の将棋盤面画像作成ツールの Shogi3 など、フェアリスト必携の定番のソフトウェア集。

◆資料集

何気ないタイトルだが、その内容を見て驚け。フェアリー黎明期から1980年までに発表された中長ばか詰や自殺詰の検討結果が解説付きで掲載されている。加藤徹、森茂、浦壁和彦、鮎川哲朗、西田尚史、花沢正純などの巨人たちの作品群である。

◆氾濫再録

詰将棋パラダイス誌上で定期開催している「神無一族の氾濫」の再録。詰パラ記事のまとまった公開は例が少なく、そういう意味でも貴重である。

◆解答

これまたぼんやりしたタイトルだが、Onsite Fairy Mate での毎月1題のトップページ出題作の解答と解説。Onsite Fairy Mate 開設当初から始まり2011年に休止になるまで167回出題された。WFP 作品展でおなじみの超絶解説をここでも楽しめる。

◆作品集

小規模ではあるが、アンチキルケとPWCの作例集が掲載されている。ずばり入門用の練習書。

おもちゃ箱 (カピタンリバイバル)

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

編集：TEISU

開設：2002年7月

幻のフェアリー将棋誌「カピタン」を復活！

中将棋、大局将棋、中国将棋、軍人将棋、フェアリー詰将棋、詰碁・・・ ゲームと詰物の世界

九州G作品展フェアリー別館

<http://cavesfairy.g1.xrea.com/pub/qgfairy/>

編集：酒井博久

開設：2003年3月

出題

たらう氏の提案・協力により、今回から九州G作品展の課題に対応したフェアリー作品展を別館として開催することにしました。

集まったのは、たらう・森茂の両氏から2作ずつの計4作と、ちょっと寂しい感じですが、フェアリー界の大物から出品いただけたのは収穫です。

作品は「ばか詰」ばかりで、内容も軽めですが、原点からのスタートとしては相応しいとも言えるでしょう。1人でも多くの人に解いていただけたら、と思っています。

～後略～

出題@妖精都市 (2008年7月)

このたび「九州Gフェアリー別館」から「Fairy of the Forest」に改称し、「妖精都市」に移転してより広い発表の場を求めたのですが、いきなり苦況に陥るはめになりました。

締切日までに集まったのは、太郎氏・七郎氏から1作ずつで、合計たったの2作！ これはもうたくぼん氏のwebマガジンに再移転するしかないかと考えていたところ、そのたくぼん氏から3作まとめたの投稿がありました。まさに救いの神です。

今回は何とか切り抜けられましたが、ゆくゆくは上記マガジンへの移転を考えなければなりません。それについては決まり次第また報告します。

出題@Web Fairy Paradise (2009年1月)

今回の出品は4題です。今回からWFPに移管することになったのですが、これを機に投稿・解答が増えることを期待したいです。

なお、WFP移管により、投稿・解答締切等のスケジュールが従来と変わることになりますが、変更後の年間スケジュールについては2月号にて発表する予定です。

～後略～

Takubon's 詰将棋 (Fairyの部屋)

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/shougiindex.html>

編集：たくぼん
開設：2005年9月

◆Fairyの部屋

ばか詰を始めとした定番ルールの図式集、作品展結果を多数収録。短編主体であり入門には適している。ここに掲載されている企画で醸成されたフェアリー熱が、たくぼんさんをWeb Fairy Paradise創刊に向かわせたのだと思う。

なぜが詰将棋とは無関係の夫婦旅行記も掲載されている。

神無太郎／プロフィール (著作・作戦)

<http://cavesfairy.g1.xrea.com/pvt/profile/>

編集：神無太郎
開設：2005年9月

◆著作

ばか詰全作を掲載。

◆作戦

コンピュータを使った各種ルールの裸玉の絨毯爆撃結果などを掲載。

妖精都市

<http://cavesfairy.g1.xrea.com/pub/>

編集：神無太郎
開設：2005年12月

暫定公開

「妖精」は即ちフェアリー詰将棋、「都市」は多様な価値観を持った住人の疎な関係のコミュニティ。当サイト名にはそういう思いを込めています。

かつては「カピタン」や「将棋パズル」、「将」、「Sumpee Topics」、「妖精通信」などの個性豊かなフェアリー詰将棋関連のミニコミ誌が数多く発行され、フェアリー詰将棋の発表の場を提供し続けてきました。時が流れ、個人レベルの活動が紙媒体からインターネットに移行するにつれ、紙媒体での発表の場は減少の一途をたどり、今では「詰将棋パラダイス」一誌になってしまいました。一方、これを補うだけのフェアリー詰将棋出題サイトはまだまだ揃ってはいないように思います。

そこで、即応性、流通性、事実上紙幅制限なしなど、紙媒体にはない多くの可能性があるインターネットで、フェアリー詰将棋創作活動を活性化できないかと思い、当サイトを開設することにしました。

まずは、現状のフェアリー詰将棋出題サイトの案内程度の内容ですが、行く行くはフェアリー詰将棋ポータルサイトのようなものに育てていけたらなと思っています。

◆JEWEL BOX、JUKE BOX、JIGSAW BOX、森茂追悼作品展 様々な作品展。

◆Fairy TopIX

Web Fairy Paradiseの名物企画の起源。

◆Fairy Database

過去に発表されたフェアリー詰将棋を可能な限り集めたもの。当然ながら収録漏れや手作業であるが故の不備

もある。なお、「伝承」のさきがけとなる資産でもある。佐藤達也氏から指摘されて初めて気がついた。

◆同一作検索

データとしてはFairy Databaseのサブセットなのだが、Fairy Databaseでは図面検索ができないので、それを補完する意味で「伝承」の意味はあると思う。

Web Fairy Paradise

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfp.html>

編集：たくぼん

発行：2008年6月（第0号）～

思いつき刊

これまでたくぼんの解図日記と称してくだらない事やフェアリー界の今後の希望など書いてきました。

まあ僅かではあるが、ネット上でのフェアリー詰将棋の発展に貢献は出来たのではないかとは思っている。しかしながら最近開催されるフェアリー系作品展の解答者数の減少を見るにつけ、まだまだ努力が足りないのではと痛感する次第。今回長い間懸案になっていた「第11回アンチキルケばか詰作品展」、「第11回PWCばか詰作品展」の開催に合わせて、将来実現を果たしたい「ウェブ・マガジン」を意識した冊子を叩き台サンプル（そんな大それた内容ではないが）として発行することとした。

ネット環境にある読者にどんどん解答参加をしていただくにはどうしたらよいか？進むべき道が見えてくればと思います。

～後略～

◆本誌

間違いなく今のフェアリー詰将棋の隆盛を一身に担っているウェブマガジン。主要コンテンツのWFP作品展は神無七郎氏が担当。広大なバックグラウンドに裏打ちされた精緻な解説は超絶の域に達している。問題は、たくぼん氏が私よりわずかながら高齢であるということと、神無七郎氏も私より若いとはいえ、さほど差がないということ。作家としてだけではない次の世代の台頭が望まれる。

◆WFP作品展登場ルールのまとめ

WFP作品展で出題されたルールの説明。いま現在活用されているルールのほとんどすべてが収められているということである。各ルール説明に分かりやすい例題がつけられれば、さらに充実のルール説明になるだろう。若い世代に期待。

詰四会のホームページ（詰四会フェアリー作品展） <http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/tume4top.html>

編集：たくぼん

開設：2006年9月

詰四会とは

四国の詰将棋の会、名称は“詰四会”で、「つめよんかい」と読みます。難しい詰将棋を出題されてう～んう～んと考え込む人に言う一言「詰めよんかい？」・・・それと四国の“四”を掛け合わせております。

◆詰四会フェアリー作品展

課題作を募集するタイプの作品展。課題の解釈もかなりフェアリー流。

編集：磯田征一

開設：2019年1月

詰将棋関係のいろいろな資料と雑話のサイトです。

詰将棋全般を扱っていますが、中では古図式の本のことに力を入れていきます。

所蔵者の許可を得て、できるだけたくさん写真を紹介します。

◆詰め物・読み物

佐藤達也氏編集の安南詰集を掲載。

